

2023-24

WEEKLY BULLETIN

Rotary Club of Mino-o



国際ロータリー 第2660地区 箕面ロータリークラブ

会長 黄堂 泰昌 幹事 河野 優作 広報委員長 水島 教絵



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー

国際ロータリー第2660地区ガバナー 延原 健二

例会場 箕面観光ホテル 例会日 毎週木曜日 18:30~

事務局 〒562-0006 大阪府箕面市温泉町1-1 (箕面観光ホテル内) Tel:072-724-2781 Fax:072-724-1786

Email : mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP : <http://mino-orc.net/>

NO.2570

2023年11月2日発行

●今週の例会プログラム

2023年11月2日(木) 第2578回例会

卓話 飛多宏三会員、木村知也会員

『箕面観光ホテル』

◆前回例会◆

出席報告

- ・2023年10月26日(木) 第2577回

会員数34名 出席者15名 (出席率46.87%)

ゲスト 川上 克己様(大阪中央RC)

黄堂 泰昌

会員の皆様には、すでにご連絡をいたしましたが、改めてご報告いたします。

かねてより病気療養中でおられました吉龍資雄会員が去る10月20日にご逝去されました。葬儀は10月24日に執り行われたとのご連絡を昨日ご親族からいただきました。

吉龍資雄会員は1930年にお生まれの享年93才でした。箕面ロータリークラブには1980年にご入会になり、長きにわたり各種活動に熱心に参加され、興味深い貴重な卓話の数々をご披露いただきました。

吉龍資雄様のご逝去を悼みご冥福を心よりお祈り申し上げます。

<黙祷>

先週はメキシコ・モレロス大学の研修生の方々をお迎えしての国際交流の例会でした。国際奉仕委員長はじめ委員の皆さんの周到な準備のおかげで、非常に活発な国際交流の時間であったと思います。大変お疲れ様でした。

さて、本日は RI 第2660地区ロータリー財団部門ロータリーワークス委員会より大阪中央RCの川上克己委員長をお招きして、ロータリーのポリオ根絶へ向けての活動についてお話をいただきます。

●次回の例会プログラム

2023年11月9日(木) 第2579回例会

卓話 箕面市消防本部消防総務室 枝川昌弘室長
(担当 尾崎会員)

『箕面観光ホテル』

本来2005年までに地球上からポリオを駆逐することを目指してロータリーの一大事業としてポリオ・プラスは1985にスタートしています。当初の目標は開発途上国の子供達に5年間、ポリオの予防接種を行うために120万ドルの寄付を集めることであり、「プラス」の意味はポリオワクチンと共に投与されていたほかのワクチンを指していたとのことです。

現在は、ポリオ根絶の取り組みにより築かれたインフラやファンドレイジングとアドボカシーのノウハウを、他の疾病対策に生かしていくことも意味しています。

ポリオ・プラスは、1988年に WHO、ユニセフ、米国疫病対策センター(CDC)とロータリーで世界ポリオ根絶推進活動として、また、2007年にはマイクロソフトの創始者のビル・ゲイツと夫人のビル&メリンドラ・ゲイツ財団、2019年には Gavi the Vaccine Allianceとの連携が加わっています。

ご承知のように、ポリオ根絶は「あと少し」のところでなかなか達成できていません。ポリオ・ウイルスが自然発症している国は存在します。

ロータリーのポリオ撲滅に関する卓話はクラブ内の歴代の財団委員長が長年お話はしていますが、ロータリー歴が浅い会員はもちろんのこと、長い会員も今回しっかりと最新のポリオ根絶に向けたロータリーの活動状況を聞いていただきたいと思い、10月24日の「世界ポリオデー」に際して、地区委員長の出張卓話をお願いしました。地区イベントの「End Polio Now」の赤いTシャツを全員で着用して、ロータリーのポリオ・プラスについて勉強したいと思います。

川上ポリオ・プラス委員長、後程卓話をよろしくお願ひいたします。



4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか

◆幹事報告◆

河野 優作

【11月の例会】

- 2日 卓話 木村知也会員・飛多会員
 9日 卓話 箕面市消防本部消防総務室 枝川様
 16日 卓話 市長卓話 上島会員
 23日 休会 休日につき
 30日 卓話 広報・会報委員長 水島会員

- ・2023-24年度国際大会早期割引のお知らせ
- ・「あかつき祭り」参加のお願い
- ・地区大会登録申込書提出のお願い



◆SAA報告◆

山根 ひとみ

ニコニコ

西脇 悟会員：吉龍先生、残念です。お世話になりました
心からお悔み申し上げます

飛多宏三会員、河野優作会員、山根ひとみ会員

米山撰学会

芝野弘三郎会員：川上地区ポリオ委員長、よろしくお願ひ
します

飛多宏三会員、河野優作会員、山根ひとみ会員

ロータリー財団

林たかみ会員、飛多宏三会員、河野優作会員、木村知也会員

芝野弘三郎会員、山根ひとみ会員

ポリオ

黄堂泰昌会員：川上ポリオ・プラス小委員会委員長、卓話よ
ろしくお願ひします

道林侑輝会員、片山秀樹会員、前田建司会員、森田雅之会員
西脇悟会員、芝野弘三郎会員、山根ひとみ会員

恒久基金

木村知也会員、西脇悟会員

◆卓話◆

『ポリオ撲滅(根絶)について』

地区ロータリー財団委員会

ポリオ・プラス小委員会 委員長 川上克己 様



ロータリーは1979年に初めてポリオのプロジェクトに携わりました。フィリピンの600万の児童にポリオの予防接種をするという5ヵ年の誓約でした。これが、保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)プログラムの最初のプロジェクトで、国際ロータリーの75周年基金から補助金が授与されました。

1980年代初めに、ロータリーは史上最も意欲的なプログ

ラムを計画しました。それは、世界中の児童にポリオの予防接種をしようというプログラムです。ロータリーは、故アルバートセービン博士の助言と支援を得て、1985年にポリオプラスプログラムを設けました。ポリオとともに、はしか、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の5つをプラスして、同時追放を目的としてポリオプラスと呼んでいましたが、ポリオプラスの「プラス」は最初の頃と意味が変わって、現在は、世界的なポリオ根絶活動がもたらした遺産のことを指しています。

1985年にポリオプラスプログラムを開始して以来、ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目としてきました。世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナー団体とともにロータリーが活動を開始した1988年には、125か国で35万件以上の発症が確認されていましたが、以来、25億人以上の子どもにポリオの予防接種を行い、発症数は99.9%減少しています。

ロータリーは1985年以来、ポリオ根絶活動に20億ドル以上の資金(ビルゲイツ財団の上乗せを含む)を投入しています。

また、アドボカシー(政府への働きかけ)を通じて、援助国、民間団体、多角的センター、および非援助国からGPEIへの寄付額は150億ドル以上にもなっています。

野生株ポリオが残る国(常在国)は今やパキスタンとアフガニスタンの2ヶ国だけなのに、どうしてそんなに資金が必要なのですか、という疑問もあろうかと思います。ポリオを根絶するには、野生株ポリオウイルスによる発症が起きているこの2ヶ国でのウイルスの感染を断ち切らなければなりません。さらに、既にポリオフリーとなった国にウイルスが流入しないようにする必要があります。ウイルス流入のリスクが高い国々(約60ヶ国)では、現在も子どもへの大規模な一斉予防接種キャンペーンが行われています。すべての子どもがポリオにおびえずに暮らせる日が来るまで、私たちは活動をやめるわけにはいきません。

ポリオ根絶のためには、まだまだ多くの資金が必要となってまいります。「あと少し」まで来ています。この偉大な事業に私たちロータリーが、中心となり、携わったという誇りと喜びのためにも、多くの応援と寄付を心よりお願い申し上げます。ありがとうございます。



01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか

☑ 4つのテスト 言行はこれに照らしてから